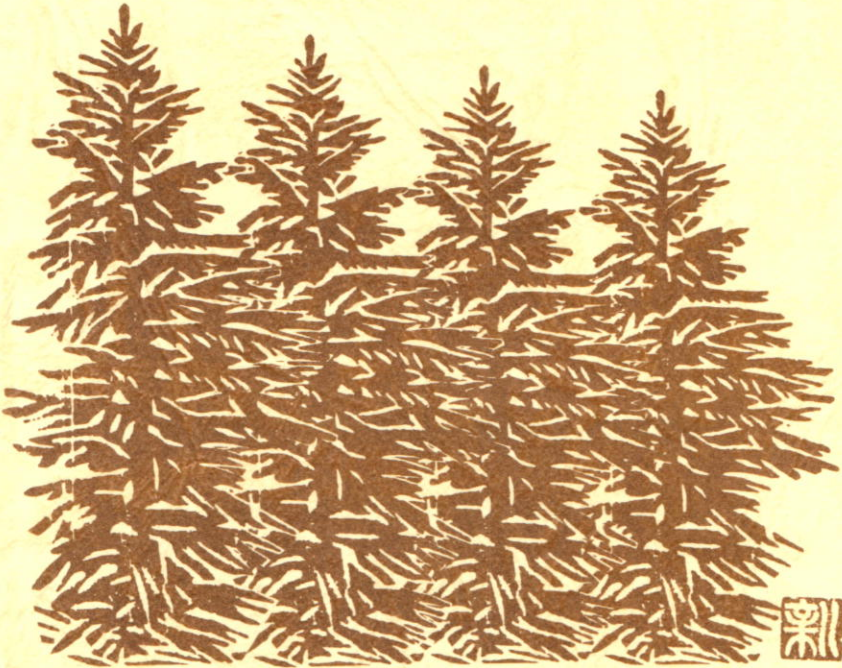


日本雪氷学会北海道支部機関誌

北海道の雪氷

第12号



平成5年8月

発行 日本雪氷学会北海道支部

目 次

巻頭言	石川信敬	1
平成5年度研究発表会講演要旨		2-65
平成4年度事業報告		66-68
平成4年度会計報告		69
平成5年度事業計画		70
平成5年度会計計画		71
平成5年度北海道支部役員名簿		72

樹林の多機能は代替が効かない

近年、北海道では、既往の開発地域において、樹林ないし樹林帯による〈緑の空間〉づくり、〈緑の表面積の拡大〉の必要性が認識され始め、「みどり環境づくりの手引」なども相次いで刊行され、〈地球にやさしい〉を合言葉に、公共事業としての樹林関係予算も漸進的に計上されるようになってきた。誠に喜ばしいことである。

なぜ樹林づくりか？ 樹林（帯）は、実に多様な環境保全機能を有しているからである。それらは、防風、防雪、防音、CO₂吸収とO₂の供給、大樹汚染物質の捕捉、温度・湿度の調節、視線誘導、景観・風土、野生生物の住み家・通路、木材生産、等々である。

他方、これらの1つ1つの機能に対して、今日のわが国の技術力・経済力からみると、防風柵、防雪柵・スノーシェルター、防音壁、自発光ポール、等々に知られるように、対応が十分に可能なものもある。それでも、技術力だけでは対応できないものも、なお多い。

そして、人為によるこうした工作物は、多くの場合に、1つないし2つ程度の機能しか有さない。しかも、その他の機能に関しては、マイナスの場合が多い、とさえ言える。生きていない工作物は、スペシャリストに止まる。反対に、樹林（帯）は、生きた工作物であって、素晴らしいジェネラリストなのである。この代替が効かない、総合力に優れた工作物を積極的に造成し、保育管理を大切にして、後世に遺したい、と切に思う。

鳥の声のみの緑となりにつけり

（表紙と文：斎藤新一郎）

巻頭言

支部幹事長 石川信敬（北大低温科学研究所）

新聞、雑誌、テレビ等至るところで今年の夏の異常ぶりが報道されています。北海道においては7月上旬に束の間の晴天日がありましたが、6月から続く日照不足と低温のため農作物への影響が懸念されています。全国的にも今年は暑い夏とは縁遠いようです。この長雨や冷夏が何故起きたかという原因の説明は既に幾つか出されています。しかしこれほど特徴的な夏を予想する事が出来なかったことから、現在の科学技術や知識では、気象（ばかりでなく噴火や地震などさまざまな自然）現象の発生を、前もって予測することがいかに困難かつくづくと考えさせられます。それにしても地球温暖化という言葉がむなしく響く夏でした。今年の冬は厳しくなるのでしょうか？

さて北海道支部会は創立34年、会員数も200余名になりました。支部活動も多岐にわたります。6月の研究発表会ではここ数年、発表件数も増加し活発な討論の場になってきました。講演会は主に札幌圏を中心に年数回行っていきます。札幌以外の会員を対象とした談話会では雪や寒さに関連した様々な問題、例えば住宅、衣料、交通、農業、漁業、健康、動植物等身近な話題を取り上げて、その道の専門家に講演して頂いています。講演会や談話会は、会員ばかりでなく一般の人にも聞いて頂き、雪氷寒冷環境の問題により多くの人の関心が集まるようにしています。なお談話会の開催にあたっては何時も開催地の自治体や団体の方に多大なるご苦勞をお願いしています。これら支部の催し物の内容は本機関誌「北海道の雪氷」に掲載することにより、参加者以外の方にも伝わるようにしております。

日本雪氷学会は法人化に伴い名実ともに一人前の学会として認知され、さらなる発展が期待されています。北海道支部会におきましても学会活動がより活発になるよう会員皆様のご協力を切にお願いする次第です。支部の活動の在り方や談話会の開催場所・内容、機関誌について皆様の要望や意見を事務局までお寄せ下さい。

平成5年度研究発表会講演要旨

日時：平成5年6月11日(金)10:00-15:45

場所：北海道立道民活動センター かでの2.7 310号室

10:00-10:30 支部総会

10:35-15:45 研究発表会：発表時間13分(質疑応答を含む)

10:35-12:10 座長 福沢卓也(北大低温研)

■融雪水の積雪内浸透の非一様性について

野村睦,石井吉之,兒玉裕二,小林大二(北大低温研)

■山腹斜面における土壌サクシヨンの季節変動

石井吉之,小林大二(北大低温研)

■雪尺の周りの融雪凹みの成因(放射収支増試算)

小島賢治(札幌市中央区南9条西17丁目2-25)

■氷の三次元粒度解析

西田顕郎,秋田谷英次(北大低温研)

■吹雪時に形成された積雪層構造の観測

八久保晶弘(北大低温研)

■降雪粒子の酸性化機構

高橋庸哉(北教大附属教育実践研究指導セ),遠藤辰雄(北大低温研),

村本健一郎,中川千枝(金沢大)

■着雪氷防止技術に関する研究(1)-各種材料の着氷力について-

吉田光則,金野克美(北海道立工業試験場),山岡勝(北海道電力(株)総合研究所),

近藤孝(北海網機(株)),浅井規夫((株)シオン),佐竹正治((財)日本気象協会北海道本部),

藤野和夫,堀口薫,水野悠紀子(北大低温研)

13:00-14:20 座長 石井吉之(北大低温研)

■大雪山「雪壁雪渓」の最近の消長

高橋修平,亀田貴雄,榎本浩之,百武欣二(北見工業大学)

■ 深層掘削機実験用15m氷柱の製作

高橋修平, 亀田貴雄(北見工業大学), 斉藤健(北海道陸別町しばれ技術開発研)

■ 高速道路における除伐木を用いた視線誘導樹の試み

斉藤新一郎(北海道立林業試験場), 林敏夫(道路公団札幌建設局)

■ 雪圧防止杭と裾枝打の組み合わせによる排雪にともなう防雪林の雪害の軽減について

斉藤新一郎(北海道立林業試験場), 林敏夫(道路公団札幌建設局)

■ 北海道における最近の交通事故について

加来照俊(北大工学部)

■ 冬期路面状況からみた峠部道路の区間分けについて

高橋勝宏, 加治屋安彦, 松沢勝(北海道開発局開発土木研)

14:25-15:45

座長 松沢勝(北海道開発局開発土木研)

■ ロードヒーティング制御法

佐山惣吾, 西川泰則, 三浦健一(北開試), 須藤昌義, 酒井好夫((株)フジイ)

■ 蒸気を用いた雪処理について

苫米地司, 伊東敏幸(北海道工業大学)

■ 冬期間の気象条件からみた外装材の修繕状況について

伊東敏幸, 苫米地司(北海道工業大学)

■ 積雪地域における冬期間の防災・消防・医療・福祉の現状について

山形敏明, 苫米地司(北海道工業大学), 高橋章弘(道立寒地住宅都市研究所),
加治屋安彦(北海道開発局開発土木研)

■ 屋根雪荷重の制御について

川上俊一, 伊東敏幸, 苫米地司(北海道工業大学)

■ '93釧路沖地震の地盤変状と予想凍結深の関係

戸松征夫(西松建設(株)技術研究所), 福田正己(北大低温研), 矢作裕(北教大釧路校),
佐藤晴彦(西松建設(株)技術研究所)